

# 数学

## 大阪大学〔理系〕(前期)

<全体分析>

試験時間 150 分 解答問題数 5 題

### 解答形式

記述式

### 分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加)  
難易 (易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)

### 出題の特徴や昨年との変更点

例年どおり数IIIの比重が高かった。

### その他トピックス

文系と共に通の問題が1問あった。

## <大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
①	平面ベクトル	数学C	内積、直交する条件	標準
②	微分法 図形と方程式	数学II・数学III 数学II	3次関数の極値 変曲点の軌跡	やや易
③	空間ベクトル 2次曲線 微分法	数学C 数学C 数学III	空間図形と軌跡 図形と最大・最小	標準
④	積分法 極限	数学III	定積分と不等式、はさみうちの原理	やや難
⑤	確率 数列	数学A 数学B	確率漸化式	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

## <学習対策>

いずれの問題も完答するには数学的な考察をしっかりと行うことが必要であり、基本事項の単純な組み合わせで解決できるような問題は少ない。日頃の学習において、単に問題を解くことに満足せず、高度な知識を身につけることや、柔軟な着想や運用、表現の意味や問題の背景にある数学的内容を確認することなどに留意して学習してほしい。また、計算量も多いので計算力を持つ練習も行ってほしい。